

宮崎県

地域医療支援センター情報交換会（5月11日開催）用アンケート

【設問1】

貴道府県における医師不足に関する課題、及びその課題に対する県としての取組みについてご記載ください。

県内の医師の地域偏在が顕著であること。診療科においても同様の状況であること。また、医師の高齢化が全国よりも進展しており、若手医師の減少が続いていること。さらには内科、小児科、産科の医師不足が深刻化していることなどが課題となっている。

これらの課題に対処するため、平成23年10月に宮崎大学、県医師会及び市町村と密接に連携した「宮崎県地域医療支援機構」を立ち上げ、医師のキャリア形成支援や臨床研修医の確保等に取り組んでいる。

また、医師修学資金貸与制度により県内の地域医療を担う医師の養成や、宮崎大学医学部に県からの寄附で開設した「地域医療学講座」により、医学生への地域医療教育及び地域医療や救急医療を担う医師の派遣等に取り組んでいる。また、県と公立病院を有する市町村とで構成する医師確保対策推進協議会において、県外医師を対象にした病院説明会を開催している。

【設問2】

設問1で記載された取組みについて、地域医療支援センターが関与し、これまで取り組んできた事業内容をご記載ください。（ポンチ絵等、参考資料を添付願います。）

※24年度から実施の5県においては、独自に取り組まれた内容があれば記載願います。

- 医師需給状況等調査事業

各年調査の三師調査の平成22年医師の状況を集計するとともに、県内の病院に対し、必要医師数調査と入院患者の医療圏ごとの出と入を調査する患者実態調査を行った。

- 医師配置等促進事業

宮崎県地域医療支援機構に専任医師を配置するとともに、医師修学資金貸与医師等の医師不足病院への配置調整を行った。

- 医師招へい事業

県外医師との面談及び県内医療機関の案内等を行った。

- キャリア形成支援事業

県内の中核的な医療機関に勤務する医師の学会等参加に要する経費を助成した。

- 臨床研修指導医養成事業

優秀な臨床研修指導医を養成するため、医師会に委託し「指導医養成のためのワークショップ」を開催した。

- 医学生臨床研修ガイダンス事業

医学部5年生を対象にしたより実践に近い臨床実習をへき地病院等で開催した。

- ・ 臨床研修病院説明会事業
宮崎大学医学部において基幹型 6 病院が参加しての病院説明会を開催。
東京、大阪、福岡で開催されたレジナビフェアに「宮崎県臨床研修病院群」として出展。
- ・ P R 事業
宮崎県地域医療支援機構のウェブサイト開設や本県の医療状況や支援策をまとめたパンフレット及び県内で活躍する医師を紹介する広報誌を県内外の医師及び学生に対する情報発信ツールとして作成した。

【設問 3】

設問 2 で記載された事業における実績について、できる限り定量的にご記載ください。(あっせん等を行った医師数、作成したキャリアプログラムの数や内容など)

- ・ 県内での定着に向けてあっせんした医師数：27名
- ・ キャリア形成支援事業として医師スキルアップ支援補助医師数：63名
- ・ 指導医養成のためのワークショップ参加医師数：31名

【設問 4】

貴道府県の地域医療センターにおける、現時点での問題点（課題）があれば、ご記載ください。

県外から医師を招いたり、医師を育て県内定着を図るために、医師がやりがいを持ってかつ安心して働き続けることができる勤務環境（キャリア形成モデル）を提示することが重要であるが、まだ、そのモデルを作成できていない。

【設問 5】

今年度以降、地域医療支援センターにおいて、どのような事業を実施される予定かご記載ください。

医師の育成・確保のため、大学附属病院を離れ地域の医療機関において、後期 1, 2 年目の若手医師を対象にした総合医育成プログラムを作成する予定である。また、県立病院にある「地域医療科」を拡充させ、医師の希望にそった魅力ある研修プログラムにより医師の確保を図ることとしている。

～以上～

宮崎県地域医療支援機構

(平成23年10月24日設立)

<構成機関>

- 宮崎大学(※1)
- 県医師会
- 県内市町村
- 県
- ※1 地域医療学講座の活用

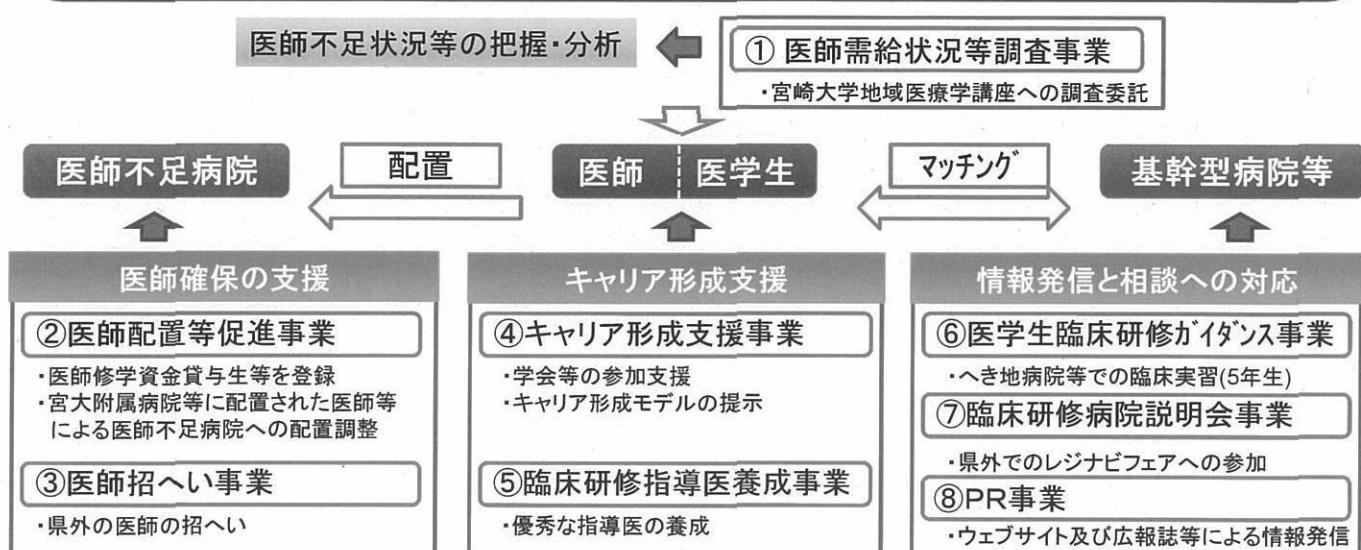
<内部組織>

- 代表者会議・構成機関の代表者で構成
- 医師配置調整会議
- 事務局(※2)

※2

県医療薬務課に設置し、医師2名(宮大附属病院・県立宮崎病院)及び事務職員5名で構成

<取組>医師不足病院への医師の配置と臨床研修マッチング数の増加



医師不足病院の支援・医師のキャリア形成支援について

